



**第 47 号**  
平成29年3月31日発行  
**編集・発行**  
各務原市社会福祉協議会  
那加二東部地区

**相続の準備は必要？**  
**福祉座談会**

十月二十八日(金) 五六名参加



世間では、高齢化に伴い、「終活」「相続」等人生の終わり方について関心が高まっています。特に平成二十七年一月より、相続税の基礎控除額が引き下げられた結果、相続税を納める世帯が増えることが予想されます。

そこで、市内で司法書士事務所を開設してみえる小島健司様より「相続関連の基礎知識」と題して講話をして頂きました。

葬儀や相続の事案が起きた場合、何事も決められた期間内に事務処理することが大切だとアドバイスを頂きました。

また、市販されている書物で勉強することも重要ですが、個別の案件によつてはやはり専門家に相談することが近道ではないかと話を閉じられました。

**長寿には食べる、笑う**  
**地区福祉交流会**

十二月九日(金) 九七名参加



午前は出前講座として「食と健康について」の講話を頂きました。結論はバランスの良い食事をする、一汁三菜、野菜、たんぱく質やカルシウムが入った食材、果物を一日三回の食事の中でうまく組み合わせることです。そして適度な運動、十分な睡眠の実行です。

午後は「大垣落語の会」の二人の出し物で、一時間大笑いをしました。落語「親の顔」、漫談「うちの婆ちゃん」「歌謡曲を斬る」では、私達の客層のつかみがうまく、私達との掛け合い、反応を上手に活用しながら、ツッコミも入れて大爆笑の連続でした。笑



このお話の主人公は、もも子です。家族は父、母、兄、本人の四人です。もも子と兄の力は双子で、予定より二ヶ月前に生まれました。彼女は体が弱く、またきん肉が細くなる重い病気を持っています。そのため素ボンベをつけて生活しています。でも明るく負けずばい、天真らまんです。

力は小学校に通っていますが、もも子は養護学校です。彼女は小学校に行ける兄をうらやましく思っています。

四年生になって、もも子は交流授業で力の小学校へ行けることになり、とても楽しく通いました。みんなも先生方も彼女を歓迎し、親切に接しました。でもある男の子は、「障がい者だから」と、いやがらせや差別をしました。勉強第一で育てられていたし、お母さんが家を出てしまっ

**あなたの体、元気？**  
**健康増進教室**

平成二九年一月十三日(金) 四一名参加

**映画「もも子」をみて**

住吉町 前田 陽菜乃(小五)

この映画を見て大切だと思ったことは、兄弟姉妹、家族としてみんなのきずなです。家族でUSJへ行く予定の日、もも子がかげをこじらせて行けなくなってしまうけれど、兄の力ががんばった姿はすごいなと思いました。ぼくは幼稚園のころ、がまんがあまりできなかったけれど、小学生になって少しずつがまん強くなってきました。これからはがまん強い心を持ち続けたいなと思いました。

**成年後見制度って何？**

**近隣ケアグループ研**

六月十七日(金) 六三名参加

最初に、近隣ケア活動の基本的な内容・取組み、諸サービスの具体的な例、介護保険制度について説明を聞きました。

次に、一般社団法人ぎふ権利擁護センター代表理事の方より、成年後見制度についての講話を聞きました。制度の内容や種類、利用手続きのながれ等、巧みな話術と生々しい写真も参考にしながら学びました。

業界の法律及び専門用語が多く難しかったですが、認知症者の増加につれて制度活用が増えると思われれます。自分または家族・身内で、この制度を利用しなければならぬ時、やはり専門家や福祉機関に相談することが近道だと感じました。



最初に、近隣ケア活動の基本的な内容・取組み、諸サービスの具体的な例、介護保険制度について説明を聞きました。

次に、一般社団法人ぎふ権利擁護センター代表理事の方より、成年後見制度についての講話を聞きました。制度の内容や種類、利用手続きのながれ等、巧みな話術と生々しい写真も参考にしながら学びました。

業界の法律及び専門用語が多く難しかったですが、認知症者の増加につれて制度活用が増えると思われれます。自分または家族・身内で、この制度を利用しなければならぬ時、やはり専門家や福祉機関に相談することが近道だと感じました。

**「もも子かえるの歌が聞こえるよ。」**

**親子ふれあい映画会**

七月二十九日(金) 九四四参加

**もも子とみんなのきずな**

桜町一すわ はると(小三)

もも子と力は双子で、未じゅく児で生まれてきました。名前はお父さんが考えました。生まれた病院の庭には、桃の花がいっぱい咲き、その花のように元気で力強くそだってほしいとねがい、力ともも子と名付けました。

この映画を見て大切だと思ったことは、兄弟姉妹、家族としてみんなのきずなです。家族でUSJへ行く予定の日、もも子がかげをこじらせて行けなくなってしまうけれど、兄の力ががんばった姿はすごいなと思いました。ぼくは幼稚園のころ、がまんがあまりできなかったけれど、小学生になって少しずつがまん強くなってきました。これからはがまん強い心を持ち続けたいなと思いました。

次に、もも子が初めて力の小学校にたいけん入学で来た時、かけこの練習でころんでしまいました。力は妹を助け、ゴールさせました。が、やさしいなと思いました。ぼくには兄弟はいないけれど、二人のきずなはすごいなと感じました。

残念ながら、もも子は力の運動会の日亡くなってしまいました。みんなでもも子の好きだった歌を歌ってお別れした場面は感動しました。いのちはとても大切だと思います。なぜなら、今年ぼくの家の大切な犬のアイちゃんが亡くなってしまったからです。力も妹がなくなつた時、ぼくと同じ気持ちだったと思います。最後に、困った人や体の不自由な人を助けてあげられる人になりたいなと思いました。



# 私の住む町から

今回は、住吉町・桜町一・桜町二・桜町三、三井東町自治会を紹介します。

## 三世代ふれあい

住吉町 吉井 麻衣(小六)

私の町内では、毎年八月に「三世代ふれあい交流会」があります。三世代が一同に集まって楽しむ会です。自治会と子ども会のメンバーが一緒に遊んだり流しそうめんを食べたりするイベントです。

大人たちが流しそうめんの準備をしてきている間に、子どもはけがをしないように活動するにはどうしたらよいかの意見を出し合いました。この話し合いをKYTと言います。ゲームは輪投げとグラウンドゴルフをしました。笑いが絶えず、おもしろかったです。

ゲームが終わると、楽しみにしていた流しそうめんです。流れてくるそうめんをみんなで沢山食べました。いろんな色のミニトマトも流れてきて、はして何とかつかんで食べられました。大人の人達もしゃぎながら

食べました。みんなが食べ終わると、私達子どもはお菓子をもらって家に帰りました。

楽しい時間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。



## 東部市民運動会初体験

桜町三 熊澤 清生

私、実は市民運動会に初参加でした。体育委員さんに任せきりで、怪我なく無事に終了を願う程度の気持ちでした。

当日、東部役員の実行が実にスムーズで先ずは感心しました。そして我が桜三自治会は、全ての手配、テント設置、その他処々が準備万端、整っています。若い二人の体育委員さんに感謝とご苦労様！参加していただいた子ども会、中学生、若いお父さんお母さん、シニアの方々にも感謝、感謝です。

町内対抗競技では、一生懸命に応援をしている若者たちを見て感激！

今時の若い者はどうもなどと、悪い固定観念に囚われていた自分を反省しました。我が町内も高齢化しているとはいえ、まだまだ若い力が満ちています。

これから先も、この盛り上がり町内活動に繋げていきたいものだと思います。次第です。



## 楽しかった夏まつり

三井東町 二宮 紗矢(小二)

私の町では、毎年夏まつり(青少年ふれあい活動)があります。子どもと大人と一緒にダーツやわなげで遊んだり、おいしいカレーを食べたりします。ビンゴゲームや花火もします。楽しいことがもりだくさんです。今年はこのえんそうを聞く、自分たちもたくさん体験をしました。

## 子ども神輿

桜町一 石黒 恵

私達桜一の子とも神輿は、代々使われている歴史ある古いお神輿です。それに続いて舟も一緒に町内を練り歩きます。三〇〇四〇年前は、子ども会員数も多く、担ぎ手もたくさんいたそうです。

数年前に市役所前駅がリニューアルされ、南北道路の車の往來も増え、交通事情も厳しくなっています。

そんな中、子ども会世帯、地域の皆さんで力を合わせて、今年度も無事にお祭りを終えることができました。お神輿作りからお祭りの当日、そして後片付けに至るまで、あらゆる世代の方々とふれ合いながら、大きな行事を成功させることができました。

年度初めのお祭りで、お神輿に皆



赤いふくをきた人たち(笠松清流太鼓)が、かっこいい、迫力のあるえんそうを聞かせてくれました。その後、リーダーの人が「みんなでたいこをたたきましょう。」と言いました。私達は大きいこと小さいことに分かれました。はずかしがっていた子もいたけど、リーダーの教えてくれたリズムをみんなですうそうけんめい練習しました。

たいこの大きさをたたく場所のちがいで音が変わりました。みんなの音がふれあいセンターの空にひびきました。その後、私達はとても上手に一曲えんそうすることができました。楽しい思い出が詰まった夏まつりになりました。



さんの思いを乗せて、平成二十八年度の子とも会行事を無事に終えることができました大変感謝しています。子ども達の安全を地域の皆さんに守って頂いています。

## 一年に一回の物故者盆供養祭

桜町二 石井 尚志

「桜町二丁目全区内の物故者を偲び、安らぎを祈るとともに、あわせて町内の平安と子々孫々の繁栄を祈願する」趣旨で、二年に一回、盆供養祭を開催し、今年で四〇回目を迎えました。

自治会、シニアクラブ、ボランティアハウスの協力で、八月七日(日) 11時より開催。来賓として副市長、衆議院議員秘書、県議及び市議をお招きしました。この二年間で八名の物故者のうち、そのご遺族三名、一般三十二名の参加のもと、



## 「わあ、すごいー!」

### 高齢者ふれあい交流会

十月十四日(金) 九三名参加

午前の部では、「ほ・ほ・え・み会」による腹話術とマジックを鑑賞しました。六ヶ所の世界遺産の旅。大きな人形が魅力的でした。手品では「あれっ?」「すごい」という声の連続でした。



午後は、金岡さんのハーモニカ演奏で、里の秋・もみじ・ふるさと等の童謡を十八曲、青い山脈・星影のワルツ等の歌謡曲を九曲歌いました。

若かりし頃に覚えた歌は、歌詞があれば歌えるんだということが体験できた。一時間でしたが、とても楽しかった交流会でした。

